「設計・積算システム」開発にかかる情報提供依頼実施要領

Ⅰ基本事項

１．提供を依頼する情報

「設計・積算システム」の構築を行うための検討にあたって必要な情報

２．提出物

Ⅲに示すとおり

３．提出期限

令和５年１１月２２日（水）１７時までにご提出をお願いします。

４．提出方法

５．に定める提出先へ電子メール、または持参により提出してください。

５．提出先・お問合せ先

奈良県水道局県域水道一体化準備室業務計画係　担当：賀集（かしゅう）

〒630-8113 奈良市法蓮町 757

Tel:0742-20-4625　Fax:0742-23-5711

e-mail:kashu-koji@office.pref.nara.lg.jp

６．その他

① 情報提供にかかる費用につきましては、各社にてご負担いただきますようお願いします。

② 本件情報提供依頼において掲げている新システム導入の基本条件は、実際にシステムを調達する際の仕様・要件定義と内容が一致するものではありません。各位から提供していただいた情報その他を総合的に勘案した上で、令和６年度４月頃に正式な仕様書を提示して調達を行う予定としています。

Ⅱ「設計・積算システム」開発の基本条件

１．概要

・業務概要

奈良県では、県水道局及び関係団体（県内２６市町村）において行っている水道事業等を、令和７年度より「奈良県広域水道企業団（地方自治法の規定に基づく一部事務組合）」として事業統合し、一体で事業を開始する予定であり、企業団で使用する「設計・積算システム」を導入する。

企業団を構成する関係団体において、現行は各々異なるシステムを利用しており、統一した基準で企業団を運営するためには、設計・積算システムの統合及び積算基準の統一が必要であることから、「設計・積算システム」の導入にあたっては、関係団体が利用しているシステムを効率的に統合できる方法等を検討する。

（別添参考資料参照）

２．システムへの要求

① 基本設計及びシステム構築並びにデータ構築を令和６年度中に行い、操作研修会等を実施したうえで、運用を開始するものとする

② 企業団を構成する関係団体が統一した積算基準（歩掛り、経費、考え方等）で積算できること

③ 積算以外の機能（マッピングシステム、ＣＡＤ、数量表作成機能等：フルスペック）との連携を持ったシステムを構築する

④ 「厚生労働省積算基準及び歩掛り」、「国土交通省及び奈良県県土マネジメント部の積算基準及び歩掛り」等が搭載されていること‘（別添資料①参照）

⑤ 関係団体の現行システムの契約満了、他部局との調整等に合わせて、統合する時期に一定の幅を設けることができること

⑥ 利用ライセンス（フルスペック・積算機能のみ）を柔軟に管理できるよう検討する

⑦ 積算基準（歩掛り等）の改定について年１回を、基礎単価等の改定について月１回程度を想定しているので、早急に保守運用の範囲で対応すること。

・その他

① 新システムの構築と、同一システムを利用している団体について、先行して統合可能か検討する

② 職員１人１人に配備している「共通端末」のインターネット環境から利用できること

③　クラウド上で利用できるシステムを想定する

④　当面（エリア事務所への統合時期までの 10 年程度）は企業団本部及び各市町村事務所に配置（配備）することを想定したシステム構築をする

・企業団本部：4 箇所（業務課、広域水道センター、御所浄水場、桜井浄水場）

・各市町村事務所：２４箇所（23 市町村及び磯城郡企業団）

※参考資料

・参考資料①_統一設計積算基準イメージ

・参考資料②_アンケート結果（システム・設計基準）

上記参考資料については、Ｗｅｂサイトに公開していません。

本情報提供へ参加を検討いただいている事業者におかれましては、「Ｉ基本事項５．提出先・お問合せ先」に示す連絡先まで連絡をお願いします。

別途提供する情報の取扱いに関する誓約書を提出いただき、これらについて提供させていただきます。

Ⅲご提供いただく資料

１．貴社概要

２．提案可能サービスと体制、導入実績・導入規模

３．提案概要とその優位性

（現行事務フロー・課題・改善施策に対する提案）

・新サービス・システム概要説明

・基本的な仕様（ＯＳ、開発言語、システム方式、DB 等のミドルウェア、特徴等）

・新システム構成図・ハードウェア構成図

・新システム機能構成図、機能概要

・システム機能要件・非機能要件（セキュリティ等）

・システムのイメージ（画面・帳票サンプル）

・システム運用スケジュール（年間）

４．概算見積書の提出

本システムに要する費用の見積りを添付の「標準見積書様式」に従って作成し、提出してください。開発作業にかかる経費については、「（別紙）開発スケジュール様式」に従って、作業項目ごとの開発スケジュールを作成し、添付してください。

なお、見積りにあたり、詳細条件又は追加条件等が必要な場合は、貴社で条件を設定し、それらを示したドキュメントを添付してください。

ここに記載している「標準見積書様式」「(別紙）開発スケジュール」は、構築するシステムの構想がほぼ確定した段階で、経費の積算を行うために提出してもらう見積書を想定しており、詳細な内容を記載する様式となっています。

よって、システム構想が確定していない初期の段階でのＲＦＩで、見積書の提出を求める場合は、より簡易な内容のもので構いません。